

## 第2章 世界規模で見る国際会議の動向

	本章で使用する「UIA 国際会議統計」について	16 頁
1	大陸別 国際会議の開催状況	17 頁
2	国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	18 頁
3	国・地域別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	19 頁
4	都市別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	20 頁
5	都市別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	21 頁

	本章で使用する「ICCA 国際会議統計」について	22 頁
6	大陸別 国際会議の開催状況	23 頁
7	国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	24 頁
8	国・地域別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	25 頁
9	都市別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	26 頁
10	都市別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	27 頁

## 本章で使用する「UIA 国際会議統計」について

本節は、UIA（国際団体連合：Union of International Associations）が発行している国際会議統計資料を基に作成されています。同統計は、以下の選定基準に基づいて集計されています。

### 【UIA 国際会議統計の選定基準】

UIA が公表している国際会議統計の選定基準は以下のとおりであり、当該条件を満たす会議が UIA 国際会議統計に反映されます。

- (1) 国際機関・国際団体（UIA に登録されている機関・団体）の本部が主催又は後援した会議
  - ① 参加国数 開催国を含む3ヶ国以上
  - ② 開催期間 1日以上

※但し、主催者が国際機関・国際団体であるか否かについては、組織の目的、会員、活動内容等の情報を総合的に勘案し、UIA が判断します。また、主催者が「国際機関・国際団体」でないと判断された場合でも、会議名、展示会併設の有無、事務局の有無等の情報を総合的に勘案し、(1) に該当する国際会議とみなされる場合もあることが判明しています。

又は

- (2) 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議
  - ① 参加者数 300名以上（うち40%以上が主催国以外の参加者）
  - ② 参加国数 開催国を含む5ヶ国以上
  - ③ 開催期間 3日以上

UIAでは、当該年の国際会議統計の発表後も、随時、情報の更新・修正を行っており、公表数値は「暫定値」としてとしています。ただし、修正後の数値が全て公開されているわけではないことから、本章では、UIAが各当該年に発表した「暫定値」を継続して掲載しています。

### UIA（国際団体連合：Union of International Associations）

UIAは、1907年にベルギー・ブリュッセルで設立された非営利・非政府の団体。7万を超える組織団体等に関わる情報の調査・収集・分析を行っており、その一環として、「UIA 国際会議統計」を毎年6月に発表している。

1

# 大陸別 国際会議の開催状況

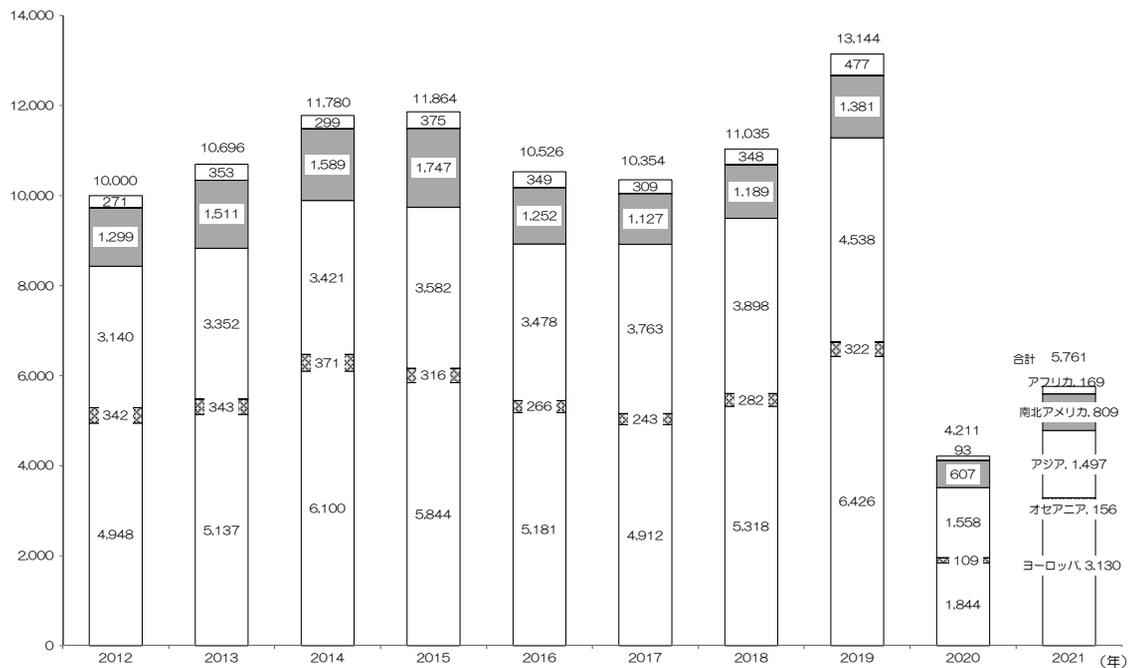
－ 開催件数は増加に転じるも 2019 年の約4割強 －

【UIA 国際会議統計】

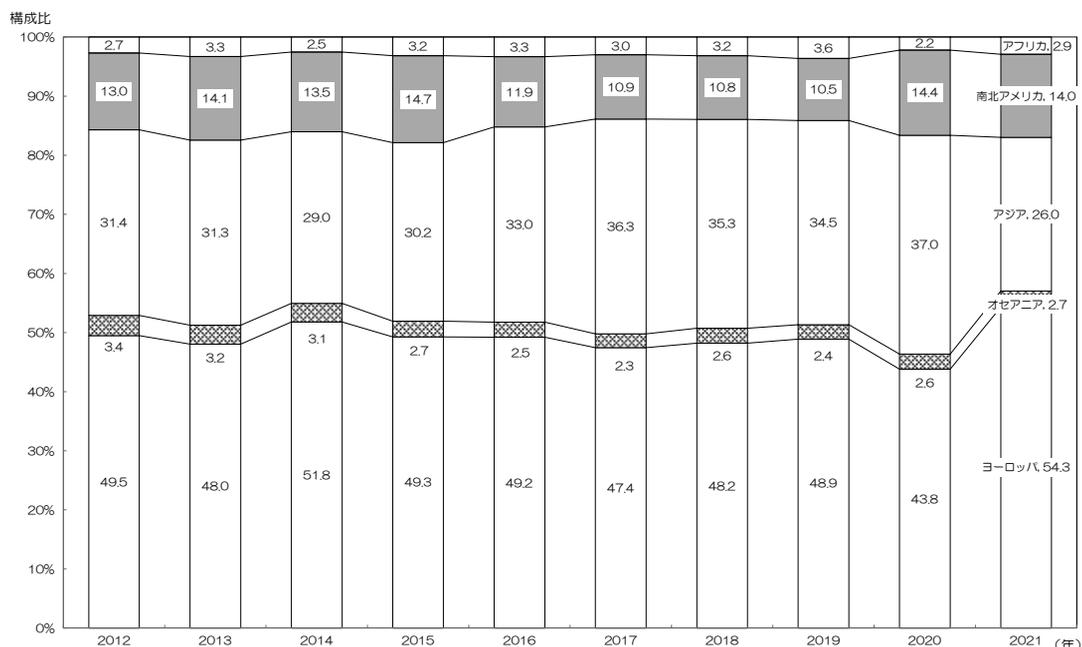
UIA 統計による 2021 年の国際会議開催件数は前年比 36.8%増の 5,761 件（オンラインやハイブリッドを含む）であった。開催件数と構成比を大陸別に見ると、1 位ヨーロッパ(3,130件、54.3%)、2 位アジア (1,497 件、26.0%)、3 位南北アメリカ (809 件、14.0%)、4 位アフリカ (169 件、2.9%)、5 位オセアニア (156

件、2.7%)の順となった。COVID-19 の影響を受けなかった 2019 年と比べると、全体としては約4割強の件数にとどまっている一方、ヨーロッパは前年の 43.8%から 54.3%へシェアを大きく拡大し、一足早く回復傾向を見せている。

図表 2-1 大陸別 国際会議の開催件数 (2012 年~2021 年)



図表 2-2 大陸別 国際会議の開催件数 構成比 (2012 年~2021 年)



注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」及び UIA の地域別区分に基づき JNTO が算出した。  
 注：図表 2-1、2-2 の「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東の各地域が含まれている。但し、トルコ、キプロス、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。  
 注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。同一の国際会議が異なる大陸で開催された場合は、該当する大陸ごとにそれぞれ計上している。  
 注：構成比は小数点第二位を四捨五入して計算しているため、各構成比の合計は必ずしも 100 にならない。  
 UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 2

## 国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）

—COVID-19の影響下でも日本は世界第3位へランクアップ— 【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による2021年の国際会議開催件数(上位10位)を国・地域別で見ると、1位アメリカ(512件)、2位韓国(473件)、3位日本(408件)となった。日本は前年の225件から81.3%増の

408件となり、5位から2ランクアップした。他方、前年1位のシンガポールは、780件から82.8%減の134件と大幅に開催件数を減らし、ランク外となった。

図表2-3 国・地域別 国際会議の開催件数（世界全体）（2012年～2021年）〈2021年上位10位を抜粋〉

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
アメリカ	658	799	858	929	702	575	616	750	438	512
韓国	563	635	636	891	997	1,297	890	1,113	256	473
日本	731	588	625	634	523	523	597	719	225	408
ベルギー	597	505	851	737	953	810	857	1,094	338	385
フランス	494	408	561	590	523	422	465	665	141	273
イギリス	272	349	355	354	266	307	333	418	186	232
オーストリア	458	398	539	383	404	591	488	417	135	228
ドイツ	373	428	439	472	390	374	305	418	162	223
イタリア	262	294	330	385	183	163	236	268	62	176
スペイン	449	505	513	480	423	440	456	531	96	174

注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。  
注：上記の各数値は、複数国で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの国ごとに計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 3

## 国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 日本が域内で第2位へ —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2021 年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の国・地域別で見ると、1 位韓国 (473 件)、2 位日本 (408 件)、3 位シンガポール (134 件) の順となり、日本は 2012 年以

来 9 年ぶりに 2 位となった。各国とも回復傾向にある中、シンガポールは開催件数を大きく減らし、前年 1 位から 3 位へランクダウンした。他方、マレーシアが件数を伸ばしてトップ 10 入りした。

図表 2-4 国・地域別 国際会議の開催件数 (アジア・オセアニア域内) (2012 年～2021 年) (2021 年上位 10 位を抜粋)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
韓国	563	635	636	891	997	1,297	890	1,113	256	473
日本	731	588	625	634	523	523	597	719	225	408
シンガポール	952	994	850	736	888	877	1,238	1,205	780	134
オーストラリア	287	283	287	253	197	183	222	247	86	125
アラブ首長国連邦	-	-	-	-	-	-	170	180	48	80
中国 (香港、マカオ除く)	155	210	193	144	131	108	132	193	39	74
タイ	89	84	280	300	279	312	185	345	32	62
マレーシア	141	137	103	204	98	90	172	86	18	45
インド	90	87	79	88	72	71	80	87	24	37
台湾	44	58	57	43	32	30	32	55	20	34

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値及び UIA の地域別区分を採用した。

注：上記の各数値は、複数国で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの国ごとに計上している。

注：上記の「-」は数値不明を表す。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 4

## 都市別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)

ー 開催件数倍増の東京が3位に浮上 ー

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による2021年の国際会議開催件数を都市別で前年と比較して見ると、COVID-19の影響で前年は総じて激減したものの2021年は件数が増加に転じた都市が多い中で前年1位のシンガポールが大幅に減少して6位となった。他方、前年2位のブリュッセル

ルが件数は微増ながら1位となった。また、件数が倍増した東京が4位から3位に浮上した。その他、ドバイとリスボンが新たにトップ10入りした。特にリスボンは、前年の28位から一気に8位へ躍進した。

図表2-5 都市別 国際会議の開催件数(世界全体)(2012年~2021年)〈2021年上位10位を抜粋〉

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
ブリュッセル	547	436	787	665	906	763	734	963	290	319
ソウル	253	242	249	494	526	688	439	609	150	265
東京	225	228	228	249	225	269	325	305	122	258
ウィーン	326	318	396	308	304	515	404	325	109	195
パリ	276	180	325	362	342	268	260	405	61	153
シンガポール	952	994	850	736	888	877	1238	1205	780	134
ロンドン	119	144	125	126	98	166	186	217	101	101
リスボン	93	72	106	147	142	135	146	204	20	94
ジュネーブ	90	126	173	172	162	158	145	173	77	87
バルセロナ	150	195	193	187	182	193	152	160	44	67
ドバイ	67	75	136	128	158	120	111	84	30	67

注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。  
注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 5

## 都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 東京と京都がランクアップ —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2021 年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の都市別で見ると、シンガポールが件数を大きく落として3位となり、前年2位のソウルが1位(265件)、東京が2位(258件)

と順位が1つずつ繰り上がった。日本の都市では、東京に続き、京都が前年10位から9位(27件)へランクアップした。

図表2-6 都市別 国際会議の開催件数(アジア・オセアニア域内)(2012年~2021年)(2021年上位10位を抜粋)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
ソウル	253	242	249	494	526	688	439	609	150	265
東京	225	228	228	249	225	269	325	305	122	258
シンガポール	952	994	850	736	888	877	1238	1205	780	134
ドバイ	-	-	-	-	-	-	111	84	30	67
仁川	25	25	30	19	53	66	70	56	14	52
バンコク	65	55	189	242	211	232	121	293	22	47
釜山	50	148	132	150	152	212	131	160	25	44
大邱	25	24	18	14	35	43	37	42	4	29
京都	84	52	56	56	53	36	58	81	16	27
シドニー	103	124	120	107	72	76	109	103	26	27

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値及び UIA の地域別区分を採用した。

注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。

注：上記の「-」は数値不明を表す。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 本章で使用する「ICCA 国際会議統計」について

本節は、ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）が発行している国際会議統計資料を基に作成されています。同統計は、以下の選定基準に基づいて集計されています。

### 【ICCA 国際会議統計の選定基準】

ICCA が公表している国際会議統計の選定基準は以下のとおりであり、当該条件を満たす会議が ICCA 国際会議統計に反映されます。

- (1) 参加者総数：50 名以上
- (2) 開催期間：定期的で開催（1 回のみ開催した会議は除外）
- (3) 開催国について：3 カ国以上で会議のローテーションがある  
(2 カ国間会議、政府系会議、国連主催の会議は除外)

ICCAでは、当該年の国際会議統計の発表後、随時過去にさかのぼり、会議の情報を収集しています。そのため、国際会議開催件数はいずれの年も「暫定値」であり、「確定値」は存在しません。本節では、作成時における暫定値を掲載しています。

### ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）

ICCA は、1963 年にオランダのアムステルダムで設立された非営利・非政府の団体。約 100 カ国の 1,000 以上の団体からなり、業界の国際的な交流と会員の地位向上を主な目的としている。「ICCA Statistics Report」を毎年発表している。

6

大陸別 国際会議の開催状況

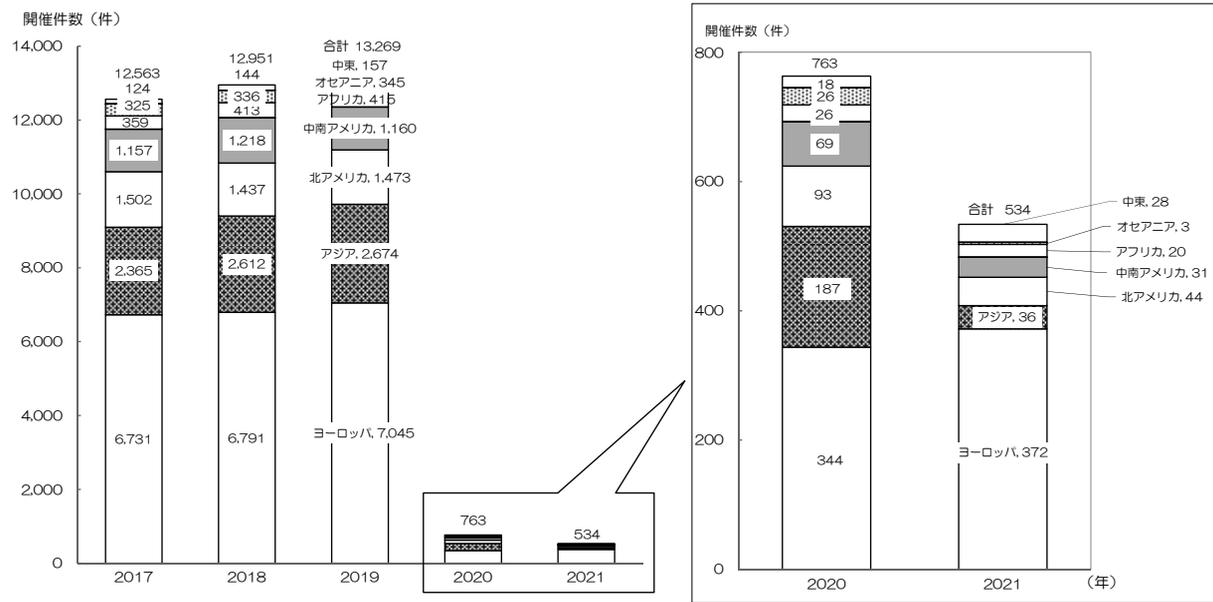
— 国際的な移動の制約が続き、前年比3割減 —

【ICCA 国際会議統計】

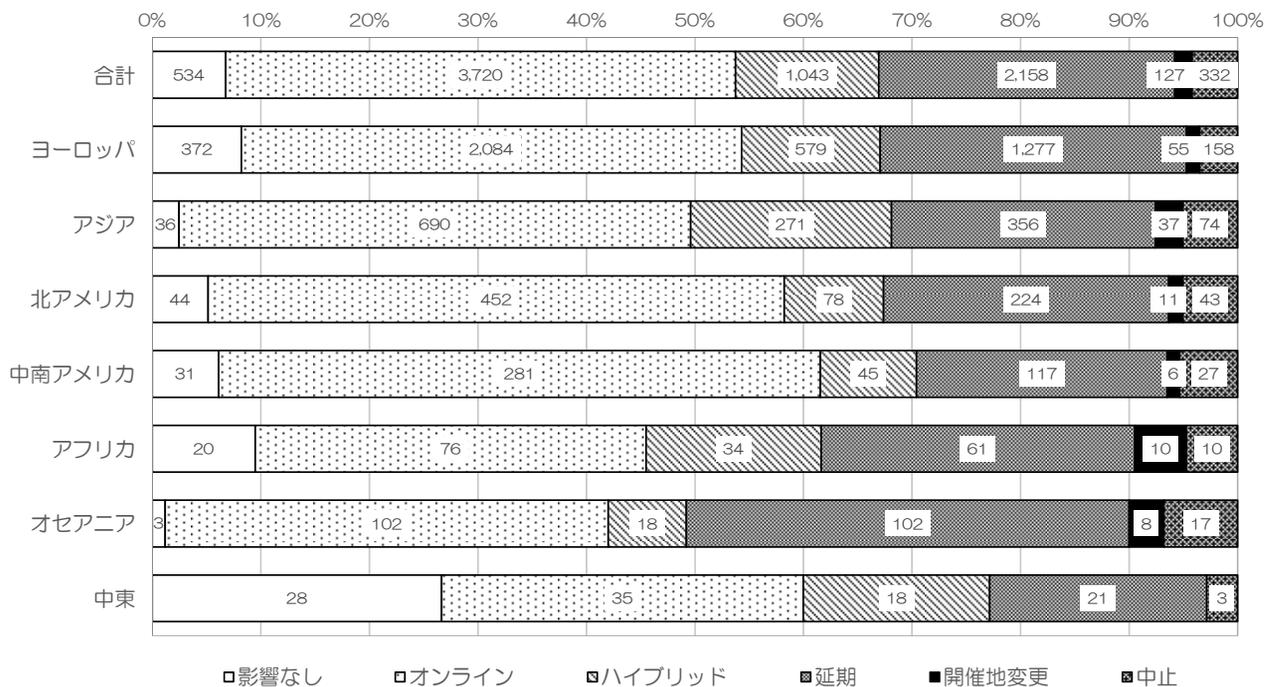
ICCA 統計による 2021 年の国際会議開催件数(通常開催できた「影響なし」の件数)は前年比 30.0%減の 534 件であった。2019 年比では 96%減となった。2021 年の開催状況の内訳を見ると「影響なし」が 6.7%にとどまった一方、「オンライン」が 3,720 件(47.0%)、「ハイブリッド」が 1,043 件(13.2%)となり、この3

つを合算すると 66.9%が実質的に開催できたこととなっている。前年と比べると「延期」と「中止」が減少して「オンライン」と「ハイブリッド」が増えたが、通常開催ではヨーロッパが約7割を占めシェアを拡大した。

図表 2-7 大陸別 国際会議の開催件数 (2017 年~2021 年)



図表 2-8 大陸別 国際会議の開催状況 (2021 年)



出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」、ICCA Statistics Report (2018)、「ICCA Statistics Report (2019)」、「ICCA Statistics Report (2020)」、「ICCA Statistics Report (2021)」  
 注：図表 2-7、2-8 の「アジア」には、ICCA の地域別区分に従い、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、コーカサスの各地域が含まれている。但し、ジョージアは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。  
 注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。  
 【ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成】

## 7

## 国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）

－ 各国とも「オンライン」が最多 －

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による2021年の国際会議開催状況を国・地域別(2019年の上位10位)で見ると、いずれも「オンライン」が最も多く、2020年に大半を占めた「延期」と「中止」が減少した。そうした中、各国で「ハイブリッド」が大きく増えていることがわかる。他方、「影響な

し」が増加に転じた国も一部あるものの、依然としてCOVID-19の影響なく開催できた件数は、いずれの国も1割程度以下にとどまった。

日本も同様の傾向で、「オンライン」が最も多く、国別ではアメリカ、イギリスに次ぐ3位、「ハイブリッド」は中国に続く2位となった。

図表2-9 国・地域別 国際会議の開催状況（世界全体）（2020-21年）（2019年上位10位を抜粋）

	2019年	2020-21年の開催状況							
	開催件数	開催年	合計	影響なし	オンライン	ハイブリッド	延期	開催地変更	中止
アメリカ	934	2021年	512	32	268	54	128	7	23
		2020年	618	52	262	4	178	3	119
ドイツ	714	2021年	354	31	177	42	88	4	12
		2020年	427	34	143	7	168	4	71
フランス	595	2021年	331	30	128	48	105	4	16
		2020年	322	20	104	4	160	2	32
スペイン	578	2021年	369	38	173	52	92	5	9
		2020年	426	33	129	2	190	4	68
イギリス	567	2021年	337	12	190	29	91	0	15
		2020年	389	16	123	0	199	0	51
イタリア	550	2021年	331	18	165	46	90	2	10
		2020年	336	23	110	5	167	3	28
中国 （香港、マカオ除く）	539	2021年	233	12	79	71	60	5	6
		2020年	215	17	50	9	95	6	38
日本	527	2021年	364	3	185	61	91	10	14
		2020年	309	30	97	12	126	5	39
オランダ	356	2021年	226	10	115	21	69	4	7
		2020年	249	19	91	1	99	1	38
ポルトガル	342	2021年	246	26	110	34	64	5	7
		2020年	225	15	66	1	116	2	25

出典：「ICCA Statistics Report (2019)」、「ICCA Statistics Report (2020)」、「ICCA Statistics Report (2021)」  
注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 8

## 国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 日本は多彩な形態での開催により件数トップに —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2021 年の国際会議開催状況をアジア・オセアニア域内の国・地域別(2019 年の上位 10 位)で見ると、COVID-19 の長期化による開催形態の多様化によりオンラインやハイブリッド開催が浸透した結果、日本は中国の 1.5 倍超まで飛躍的に件数(「影

響なし」「オンライン」「ハイブリッド」を合計した開催件数)を伸ばし、「オンライン」や「ハイブリッド」を含めた実質的な開催件数で最多となり、域内で首位となった。

図表 2-10 国・地域別 国際会議の開催状況(アジア・オセアニア域内)(2020-21 年)〈2019 年上位 10 位を抜粋〉

	2019年	2020-21年の開催状況							
	開催件数	開催年	合計	影響なし	オンライン	ハイブリッド	延期	開催地変更	中止
中国 (香港、マカオ除く)	539	2021年	233	12	79	71	60	5	6
		2020年	215	17	50	9	95	6	38
日本	527	2021年	364	3	185	61	91	10	14
		2020年	309	30	97	12	126	5	39
オーストラリア	272	2021年	204	2	79	15	85	7	16
		2020年	194	19	54	3	78	5	35
韓国	248	2021年	211	5	87	56	43	7	13
		2020年	223	32	54	24	86	7	20
台湾	163	2021年	103	3	53	20	23	0	4
		2020年	90	14	10	16	40	1	9
タイ	162	2021年	78	0	44	5	21	2	6
		2020年	111	23	27	7	44	1	9
インド	158	2021年	66	4	37	6	15	1	3
		2020年	91	17	26	2	38	1	7
シンガポール	149	2021年	102	3	56	16	22	2	3
		2020年	105	6	27	2	44	2	24
マレーシア	137	2021年	76	0	41	3	22	1	9
		2020年	87	18	15	2	40	1	11
インドネシア	95	2021年	50	0	26	7	12	1	4
		2020年	44	5	8	1	28	0	2

出典：「ICCA Statistics Report (2019)」、「ICCA Statistics Report (2020)」、「ICCA Statistics Report (2021)」

注：図表 2-10 で取り上げた「アジア」の領域は、ICCA の地域別区分による。

注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 9

## 都市別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）

－ オンラインやハイブリッド化が進む －

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2021 年の国際会議開催状況を都市別（2019 年の上位 10 位）で見ると、各都市とも「オンライン」が最も多く、前年との比較では「ハイブリッド」が顕著に増えている。他方、2020 年に多数を占めた「延期」と「中止」は各都市とも減少に転じた。東

京も同じ傾向を示したが、他都市では僅少であるが影響なく開催できた件数がある一方で東京は皆無となり、依然として厳しい状況が浮き彫りとなった。

図表 2-11 都市別 国際会議の開催状況（世界全体）（2020-21 年）〈2019 年上位 10 位を抜粋〉

	2019年	2020-21年の開催状況							
	開催件数	開催年	合計	影響なし	オンライン	ハイブリッド	延期	開催地変更	中止
パリ	237	2021年	84	7	31	12	28	0	6
		2020年	94	4	41	1	40	0	8
リスボン	190	2021年	123	7	59	25	30	1	1
		2020年	109	7	36	0	55	2	9
ベルリン	176	2021年	76	6	38	9	18	2	3
		2020年	115	10	43	3	35	1	23
バルセロナ	156	2021年	90	9	41	13	24	2	1
		2020年	121	11	44	0	46	3	17
マドリード	154	2021年	79	11	32	19	12	1	4
		2020年	100	7	27	2	41	0	23
ウィーン	149	2021年	113	9	61	22	19	0	2
		2020年	121	10	49	2	41	0	19
シンガポール	148	2021年	102	3	56	16	22	2	3
		2020年	105	6	27	2	44	2	24
ロンドン	143	2021年	67	2	39	8	16	0	2
		2020年	98	5	40	0	40	0	13
プラハ	138	2021年	95	3	44	14	29	3	2
		2020年	92	9	22	1	55	0	5
東京	131	2021年	79	0	51	9	14	1	4
		2020年	53	4	13	1	29	0	6

出典：「ICCA Statistics Report (2019)」、「ICCA Statistics Report (2020)」、「ICCA Statistics Report (2021)」  
注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 10

## 都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

- 各都市とも「延期」と「中止」が減少 -

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2021 年の国際会議開催状況をアジア・オセアニア域内の都市別 (2019 年の上位 10 位) で見ると、上海を除き各都市とも「オンライン」が 2020 年より増加して最も多くなった。また、「ハイブリッド」も台北を除き各都市とも増加した。その結果

「延期」や「中止」はいずれの都市においても前年より減少した。他方、COVID-19 の長期化の影響もあり、通常開催できた件数は各都市とも前年より減少した。

図表 2-12 都市別 国際会議の開催状況 (アジア・オセアニア域内) (2020-21 年) (2019 年上位 10 位を抜粋)

	2019年	2020-21年の開催状況							
	開催件数	開催年	合計	影響なし	オンライン	ハイブリッド	延期	開催地変更	中止
シンガポール	148	2021年	102	3	56	16	22	2	3
		2020年	105	6	27	2	44	2	24
東京	131	2021年	79	0	51	9	14	1	4
		2020年	53	4	13	1	29	0	6
バンコク	124	2021年	55	0	32	4	14	2	3
		2020年	72	16	17	3	30	0	6
ソウル	114	2021年	99	1	48	15	24	5	6
		2020年	113	14	35	10	40	5	9
台北	101	2021年	64	1	31	12	17	0	3
		2020年	62	8	6	12	29	0	7
シドニー	93	2021年	48	0	24	1	16	2	5
		2020年	54	6	18	0	19	1	10
香港	91	2021年	39	1	20	7	9	0	2
		2020年	55	4	16	1	19	3	12
北京	91	2021年	52	1	25	8	13	3	2
		2020年	44	4	7	0	19	2	12
クアラルンプール	91	2021年	43	0	27	2	9	1	4
		2020年	53	13	7	1	22	1	9
上海	87	2021年	40	3	9	11	14	1	2
		2020年	53	4	12	0	24	2	11

出典：「ICCA Statistics Report (2019)」、「ICCA Statistics Report (2020)」、「ICCA Statistics Report (2021)」  
 注：図表 2-12 で取り上げた「アジア」の領域は、ICCA の地域別区分による。  
 注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成